

ファイザー という 会社の ワクチンに ついて
(2021年3月)

新型コロナワクチンを打ってもらうときの説明のための書類
(追加接種用 (3回目のワクチン用))

新型コロナワクチンを打ってもらうことについて

国と、市、町、村がする新型コロナウイルス (SARS-CoV-2と言います) のためのワクチンを打つ仕事をしています。お金は全部 国などがはらいますので、ワクチンを打ってほしい人は ただ (0円) でワクチンを打ってもらうことができます。このワクチンの追加 (3回目) を打ってもらうことができるのは 12歳以上の人だけです。

ワクチンが効くかどうかと、ワクチンを打つ方法

今回打つワクチンはファイザーという会社つくったワクチンです。このワクチンを打ったら、新型コロナウイルスが原因で起こる病気 (新型コロナウイルス感染症) にかかりにくくなります。このワクチンを3回打った後は、2回目を打った後よりも ウイルスから体を守ってくれる抗体が何倍も多いという報告があります。海外の研究などでは、3回打った後は、新型コロナウイルス感染症にかかりにくくなる効果が回復するという報告があります。

ワクチンの名前	コミナティ筋注
何にききますか?	SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) 感染症にかかりにくくなる
ワクチンを打つ回数・ ワクチンを打つ間の期間	1回 (2回目のワクチンを打ったあと 決められた日にちが過ぎてから)。 ※ワクチンは筋肉に打ちます
ワクチンを打ってもらうことができる人	12歳以上の人
ワクチンの量	1回0.3 mLで1回打ちます

- いつワクチンを打つことができるかは、年れいなどによって違います。今のところ、2回目のワクチンを打ってから少なくとも6か月です。住んでいる市、町、村からのお知らせをみてください。
- 1回目や2回目に、この (ファイザーという会社がつくった) ワクチンと違うワクチンを打ってもらった人でも、3回目でもこのワクチンを打ってもらうことができます。
- 3回目のワクチンを打ってもらったら新型コロナウイルス感染症に完全にかからなくなるわけではないけれど、かかりにくくなりますし、もしかかって症状が少なくてすみます。ですが、完全にかからないわけではないので、ワクチンを打ってもらったあとも、マスクをすとか、他の人と距離をとるとか、今までと同じように、新型コロナウイルス感染症にかからないように気をつけてください。

ワクチンを打ってもらうことができない人

つぎの1~4の人はこのワクチンを打ってもらうことができません。1~4にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、1~4にあてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

- 1. まちがいなく熱がある人 (※1をみてください)
- 2. 重い急な病気にかかっている人
- 3. このワクチンに入っているものに強く反応する症状 (過敏症といいます) (※2をみてください) がでたことがある人
- 4. 1~3以外の理由で、ワクチンを打ってもらってはいけない状態の人

(うらに つづく)

(※1) まちがいなく熱があるというのは、普通37.5℃以上のことです。しかし、体温が 37.5℃より低くても、いつもの体温と比べて、熱があると考える場合もあります。

(※2) 過敏症というのは次のようなものです。アナフィラキシーや、体中の皮膚や粘膜に症状が出る、息をするときに「ゼーゼー」といった音が聞こえる、息が苦しくなる、脈がはやくなる、血圧が下がるなどアナフィラキシーかもしれないという症状がある場合。

1 回目や 2 回目のワクチンを打った時に、このような症状になった人は、3 回目に同じワクチンを使うことができません。

ワクチンを打ってもらうときに注意した方がいい人

次の 1～6 の人はこのワクチンを打ってもらうときに、注意した方がいいです。1～6 にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、1～6 あてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

- 1. 血が固まらないようにする治療を受けている人、血液の中の血小板が少なくなる病気（血小板減少症）にかかっている人や血が固まりにくい症状がある人
- 2. 免疫（病気にかからなくなるしくみ）がうまく働かない状態（免疫不全）になったことがある人、親や兄弟など近い関係の人（近親者）に、生まれたときから免疫不全になっている病気（先天性免疫不全症）の人がいる人
- 3. 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気や、体が十分に大きにならないなどの元々の病気（基礎疾患）がある人
- 4. これまでにワクチンを打ってもらったあと、2日以内に、熱がでたり体中にできものがでたりするなど、アレルギーかもしれない症状がでたことがある人
- 5. これまでに、急に手や足がつかばたり、体が動かなくなったりしたこと（「けいれん」といいます）がある人
- 6. このワクチンに入っているものにアレルギーがおこるかもしれない人

赤ちゃんがおなかにいる（妊娠中）か、妊娠しているかもしれない人、赤ちゃんにあなたの母乳をあげている人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんに見てもらったときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。ただし、いつも行っている産婦人科のお医者さんに確認していない場合でも、ワクチンを打つ前にみってくれるお医者さんが ワクチンを打ってもいい と判断した場合は、ワクチンを打つことができます。

このワクチンには、これまでのワクチンでは使ったことがないものが入っています。これまでに、薬で過敏症やアレルギーになったことがある人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。

ワクチンを打ってもらったあとに注意すること

このワクチンを打ってもらったあとは、次の 1～3 をまもってください。

- 1. このワクチンを打ってもらったあとは、15分以上（これまでに、ワクチンを打ってもらったときに、アナフィラキシーなどの重いアレルギーになったことがある人や、気分がわるくなったり、気を失ったりしたことがある人は30分以上）、ワクチンを打ってもらった施設で待ってください。もし、体の調子がわるくなったら、すぐにお医者さんに言ってください。（急におこるワクチンのわるい影響（副反応）といいますが）に対応することができます

- 2. ワクチンの注射をしたところはきれいにしてください。ワクチンを打ってもらった日にお風呂に入ってもいいですが、ワクチンを注射してもらったところをこすらないでください。体の調子がわるい時は、お風呂に入らないで、ようすを見てください。
- 3. ワクチンを打ってもらった日は、はげしい運動をしないでください。

ワクチンを打ってもらったことによるわるい影響（副反応）について

- このワクチンを打ってもらったときにおこる主な副反応は次のようなものです。注射をしたところがいたくなる、頭がいたくなる、関節や筋肉がいたくなる、つかれる、寒いと感じる、熱がでるなどです。とてもすくなくないですが、とてもひどい副反応にショックやアナフィラキシーがあります。このワクチンは、新しくつくったワクチンなので、まだわかっていない副反応が出るかもしれません。ワクチンを打ってもらったあとで、なにか症状がでたときは、いつもみてもらっているお医者さんに相談してください。
 - とても少ないケースですが、ワクチンを打った後に、心筋炎（心臓の筋肉の炎症）や心膜炎（心臓を包んでいる袋のような膜の炎症）かもしれないという報告があります（※）。ワクチンを打った後、数日以内に次のような症状がでたら、すぐにお医者さんに言ってください。胸がいたい／心臓がいつもよりどきどきする／息が苦しくなる／むくむ（体の中に水がたまって、皮膚がふくらむ）
- （※ 1） 1回目よりも2回目にワクチンを打った後の方が多く、若い人、特に男の人に多いようです。たくさんの方がワクチンを打っている海外では、2回目にワクチンを打った後よりも、3回目の後のほうが、心筋炎（心臓の筋肉の炎症）になったという報告が少なかったそうです。
- 3回目にワクチンを打った後は、前に打った時と比べて、5%ほど、脇の下のリンパ節が腫れやすいですが、症状は軽く、数日以内によくなることが多いです。腫れがひどかったり、なかなかよくなる時は、お医者さんにそのことを言ってください。

ワクチンを打ってもらったことでおこった健康に関係のある問題（予防接種健康被害救済制度）について

ワクチンを打ってもらったときに健康被害（病気になったり、体に障害が残ったりすること）がおこることがあります。こうした被害はとてもすくなくないですが、こうした被害をなくすことはできないので、被害を受けた人を助ける制度があります。

新型コロナウイルスワクチンを打ってもらったことで健康被害を受けた場合も、こうした救済制度を使うことができます（これは、予防接種法という法律で決まっています）。たとえば、病院などでかかるお金（医療費）や障害がある人がもらうことができる年金（障害者年金）をもらうことができます。こうしたお金をもらうためには、健康被害を受けたことを役所に教えなければなりません。このことについて詳しいことは、あなたの住民票がある場所の市、町、村の役所に聞いてください。

新型コロナウイルスによる病気（新型コロナウイルス感染症）について

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV-2 というウイルスが原因でおこります。この病気になると、熱やせきができるなど、なぜによく似た症状がでます。症状が軽いときに治る人も多いですが、症状が重くなると、呼吸が苦しくなるなど肺炎の症状がひどくなって、死ぬこともあります。

（うらに つづく）

これから打つ新型コロナウイルスワクチン（ファイザーという会社のワクチン）はどんなワクチンですか？

このワクチンは、メッセンジャー-RNA (mRNA) を使ったワクチンです。SARS-CoV-2 というウイルスのスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞に入るために必要なタンパク質）をつくるための設計図になる mRNA を脂質の膜に包んでいます。このワクチンを打つと、mRNA があなたの細胞の中に入り、この mRNA を使って細胞の中でスパイクタンパク質ができます。そして、そのスパイクタンパク質の働きを中和する抗体ができ、免疫を作るように命令がでて（細胞性免疫応答が働いて）、SARS-CoV-2 による感染症にかからないようになると考えられています。

このワクチンには、次のものが入っています。

効果があるもの	◇ トジナメラン（人間の細胞膜とくっつく働きがあるスパイクタンパク質全体の情報を伝える mRNA）
足したもの	◇ ALC-0315： [(4-ヒドロキシブチル) アザンジル] ビス (ヘキサン-6,1-ジイル) ビス (2-ヘキシルデカン酸エステル)
	◇ ALC-0159： 2- [(ポリエチレングリコール) -2000] -N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC： 1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
◇ リン酸水素ナトリウム二水和物	
◇ 精製白糖	